
障害者支援施設オークスヴィレッジ

令和2年度事業報告

1. **実施事業の概要**
2. **各事業の利用状況等報告**
 - 2.1 施設入所支援
 - 2.1-1 生活介護
 - 2.1-2 在籍者数
 - 2.1-3 入退所状況
 - 2.1-4 施設入所待機登録状況
 - 2.2 短期入所者 利用実績報告
 - 2.3 日中一時支援 利用実績報告
 - 2.4 相談支援 利用実績報告
3. **利用者の状況報告**
 - 3.1 年齢構成
 - 3.2 障害支援区分の分布
 - 3.3 各種手帳の所持状況
 - 3.4 年金受給状況
4. **各作業班活動報告**
 - 4.1 なごみ班
 - 4.2 のびのび班
 - 4.3 きらり班
 - 4.4 スマイル班
 - 4.5 つばさ班
 - 4.6 めぐみ班
5. **給食実施状況報告**
 - 5.1 月別給食業務実施内容
 - 5.2 栄養出納帳(年度平均)報告書
6. **健康管理実施状況報告**
 - 6.1 月別健康管理業務実施状況
 - 6.2 定期健康診断の状況
7. **職員研修状況の報告**
 - 7.1 施設内専門分野研修
 - 7.2 施設内全体研修
 - 7.3 施設外研修

8. 防災の取り組み状況報告
9. 主な催事の報告
10. 見学者・ボランティア等の受け入れ状況の報告
11. 主な環境整備、物品の購入の報告

1. 実施事業の概要

■オークスヴィレッチの事業

●障害者支援施設の経営(施設入所支援)——第1種社会福祉事業

【定員：50名】

施設入所支援は、施設に入所するご利用者の夜間帯において、入浴、排泄、食事等の介護その他必要な支援を行う。また、相談、助言等のほか、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活上の支援、機能訓練、健康管理及び療育上の支援を行う。ご利用者の有する能力に応じ、充実した日常生活を営むことができるよう努める。

●障害福祉サービス(生活介護)——第2種社会福祉事業

【定員：50名】

A D Lの低下や自閉症等に起因する行動障害など、身体・精神面で常時介護を必要とするご利用者に対し、安全で豊かな日常生活を営むことができるよう、個々のご利用者に十分配慮した支援を行う。また、創作活動や生産活動の機会の提供、外出や行事、レクリエーション等の参加など日中活動の充実を図る。

●短期入所——第2種社会福祉事業

【定員：9名】

居宅において、その介護を行なう者の疾病その他の理由により、短期間等の入所を必要とする障害者等につき、短期間等入所させ、入浴、排せつまたは食事の介護その他必要な支援を行なう。

●地域生活支援事業(日中一時支援事業)——公益事業

【定員：若干名】

障害者等の家族の就労支援、および、障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とし、障害者等へ日中における活動の場を提供し、見守り、社会適応訓練等を行なう。

※日中一時支援事業は次の市区町村と契約を締結。

ひたちなか市、水戸市、那珂市、東海村、日立市、常陸大宮市。

●特定相談支援事業所——第2種社会福祉事業

【対象：当施設入所者】

基本相談支援と計画相談支援を行い、支援が必要な障害のある方やご家族が、面談やアセスメントを通して、一人ひとりのニーズや状況に合わせた「サービス等利用計画」を作成します。その後は定期的にサービスの利用状況などを聞き取りし、変更が必要な場合には「サービス等利用計画」の変更・修正を行う。

2. 各事業の利用実績数報告

2.1 施設入所支援(定員 50 名)

利用者 利用実績報告

月	利用者数				各月 合計 (人)	平均 利用数 人/日	利用率 (%)	入 院 者数 (実人 数)
	障害支援区分							
	6	5	4	3				
4	759	426	268	0	1,453	48.4	96.9%	2
5	806	434	256	0	1,496	48.2	96.5%	1
6	772	407	252	0	1,431	47.7	95.4%	1
7	791	434	275	0	1,500	48.4	96.8%	2
8	744	434	263	0	1,441	46.5	93.0%	2
9	775	420	250	0	1,445	48.1	96.3%	2
10	748	429	264	0	1,441	46.5	93.0%	3
11	766	415	246	0	1,427	47.6	95.1%	4
12	793	429	248	0	1,470	47.4	94.8%	3
1	806	413	253	0	1,472	47.5	95.0%	2
2	716	369	224	0	1,309	46.8	93.5%	3
3	771	434	264	0	1,469	47.4	94.8%	2
合計	9,247	5,044	3,063	0	17,354			

当年度 年間平均利用率：95.1%
 前年度 年間平均利用率：97.2%
 前々年度 年間平均利用率：97.4%

2.1-1 生活介護(定員 50 名)

利用者 利用実績報告

月	利用者数				各月 合計 (人)	平均 利用数 人/日	利用率 (%)
	障害支援区分						
	6	5	4	3			
4	561	316	198	0	1,075	48.7	97.7
5	598	317	190	0	1,105	48.0	96.1
6	571	308	196	0	1,075	48.9	97.7
7	598	322	207	0	1,127	49.0	98.0
8	552	322	198	0	1,072	46.6	93.2
9	572	308	194	0	1,074	48.8	97.6
10	590	322	207	0	1,119	48.6	97.3
11	569	308	190	0	1,067	48.5	97.0
12	593	322	184	0	1,099	47.7	95.6
1	598	309	184	0	1,091	47.4	94.9
2	517	265	160	0	942	47.1	94.2
3	576	322	222	0	1,120	48.7	97.4
合計	6,895	3,741	2,330	0	12,966		

※生活介護利用上限日数は該当月 - 8 日

2.1-2

利用者在籍数(入所)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
男性	茨城	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	324
	東京	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	
	千葉	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
女性	茨城	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	252	266
	東京	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	長崎	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
合計		50	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	590	590

2.1-3 入退所状況

入退所者数

入所前の所在	性別	入所者数	退所理由	性別	退所者数
家庭	男	0	家庭	男	0
	女	0		女	1
他施設	男	0	他施設へ移動	男	0
	女	0		女	0
病院	男	0	入院	男	0
	女	0		女	0
その他	男	0	地域社会へ移行	男	0
	女	0		女	0
合計	男	0	合計	男	0
	女	0		女	1

2.1-4 施設入所利用 待機登録者数

	男性 待機登録者数	女性 待機登録者数
ひたちなか市	10	9
那珂市	0	1
東海村	4	2
常陸太田市	1	0
日立市	6	4
水戸市	1	2
茨城町	1	0
鹿嶋市	1	0
潮来市	1	0
台東区	1	0
合計	26	18
前年度	27	16
前々年度	28	17

2.2 短期入所者

短期入所 利用実績報告

月	者	児	合計
4	60	0	60
5	62	0	62
6	60	0	60
7	44	0	44
8	31	0	31
9	30	0	30
10	31	0	31
11	30	0	30
12	31	0	31
1	31	0	31
2	28	0	28
3	31	0	31
合計	469	0	469
前年度	1,269	0	1,269
前々年度	1,176	0	1,176

2.3 日中一時支援

日中一時支援事業等 利用実績報告

月	ひたちなか市	那珂市	水戸市	日立市	東海村	月別計
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0
前年度	513	29	0	0	0	542
前々年度	297	41	0	0	11	349

2.4 指定特定相談支援事業 利用実績報告

当施設をご利用の利用者の方を主として、本人またはご家族からの依頼を受け、各種福祉サービスが円滑に受けられるよう、サービス等利用計画の作成およびモニタリングを行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
モニタリング 件数	0	0	0	0	7	3	3	1	1	0	2	0	17
計画件数	1	0	1	1	2	1	0	0	0	15	6	10	37
月別合計	1	0	1	1	9	4	3	1	1	15	8	10	54

3. 利用者の状況報告

3.1 年齢構成

利用者年齢構成表

年齢 性別	16	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	合 計	最 高 年 齢	最 少 年 齢	平 均
	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74					
男	0	0	0	0	1	6	5	5	3	0	4	3	0	27	74	38	53.1
女	0	0	0	1	0	2	5	2	3	3	1	2	3	22	76	35	55.7
計	0	0	0	1	1	8	10	7	6	3	5	5	3	49			55.4
比 率	0%	0%	0%	2%	2%	16%	20%	14%	12%	6%	10%	10%	6%	100%			

3.2 障害支援区分の分布

区分 性別	6	5	4	3	2以下	計
	男	18	4	5	0	0
女	8	10	4	0	0	22
計	26	14	9	0	0	49
比 率	53%	29%	18%	0%	0%	100%

3.3 各種手帳の所持状況

療育手帳の所持状況

区分 性別	①	A	B	C	計
男	10	12	3	2	27
女	6	11	5	0	22
計	16	23	8	2	49
比率	33%	47%	16%	4%	100%

身体障害者手帳の所持状況

等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
所持数	0	1		1	2		4

3.4 年金受給状況

	障害者基礎年金		老齢厚生年金	未支給	計
	1級	2級			
入所者数	30	16	(1)	3	49

4. 各作業班活動報告

利用者個々のニーズや希望等を把握し作成した個別支援計画に沿って、食事・排泄・入浴等の日常生活支援及び運動・創作活動・余暇活動等の日中活動支援を行いました。生活の充実と生活スキルの維持向上及び身体機能の維持向上に取り組みました。

4.1 令和2年度 なごみ班支援報告

プログラムの報告

- ・一人ひとりの個性を生かし、個々にあった個別支援を行い、精神安定とADL・QOLの向上に繋がっていきました。
- ・販売や行事に向けて作品を作成し製品化しました。
- ・自らが作り上げる事で達成感や喜びを感じられるよう支援しました。
- ・まくら製作に関しては、確認を念入りに行い、物品の混入、虫の発生を防ぎました。
- ・作業活動を通して思いやりの気持ちや協調性が持てるよう支援しました。

【担当職員】 磯崎・宇野

支援事項

- まくら作り(害虫駆除→そば殻干し→ふるい→そば殻入れ→製作→販売)
- 定期的に施設内整備、屋外清掃、施設周辺のクリーン活動を行いました。
- 身辺処理支援 身だしなみ(ひげ剃り、衣類の調整などの声掛け)
- 出勤簿を作成し、作業参加の意欲に繋がりました。
- 作業開始、終了時のメリハリを付けました。
- 時間を守るようにしました。
- 体力作り(ラジオ体操、ウォーキング、踏み台昇降など)を行いました。
- 雨天時、レクリエーション等を取り入れ精神状態を安定させ、屋内活動を提供しました。
- 毎月1回レクリエーションの時間(散歩等)を取り入れ、気分転換を図り、作業意力の向上に努めました。

留意点

- 1：一人ひとりの個性に応じた個別支援を行いました。
- 2：明るい雰囲気の中で作業を行いました。
- 3：材料や道具を大切に使い、整理整頓・確認の習慣を身につけました。
- 4：日直当番を作り、挨拶や号令、おやつの準備などを通して、責任感を養いました。
- 5：精神状態の把握(表情、行動、言動など)をしました。
- 6：所在の確認、危険物の取り扱いや所持に注意しました。
- 7：自己中心的にならず、お互い助け合う仲間作りを声掛け支援しました。
- 8：個人の体調、精神状態、年齢、体力を考え作業内容の確認を定期的に行いました。

4.2 令和2年度 のびのび班支援報告

プログラムの報告

- ・個々の特性を理解し、利用者様への個別支援を行なう事により、ADLの維持や向上に繋げていきました。
- ・生活していく中で欠かせない清掃や洗濯などに毎日携わる事により、自主性や利用者様同士の良好な人間関係を構築し、より良い住環境作りを目指しました。
- ・多彩なプログラムを取り入れる事で、日中活動の充実を図り、利用者様のQOL向上に繋げていきました。

【担当職員】石川・砂押

支援事項

○身辺処理支援

手洗い、髭剃り、気温に応じた衣類の調整を毎日行いました。

○洗濯作業・室内清掃

これらを通し、自らの役割に責任を持ち取り組んでいただくと共に、互いを思いやる気持ちを養いました。

○軽運動

毎日のラジオ体操・ウォーキングの他に、活動の中でも軽運動を取り入れ、心身の健康維持に努めました。

留意点

- 1：個々の特性に応じた支援を行うと共に長所を伸ばせる支援を心掛けました。
- 2：個人の体調・体力・年齢を考慮し、安全に配慮しながら支援を行いました。
- 3：職員間の情報共有を大切にし、利用者に対する理解を深め、より良い支援の向上に努めました。
- 4：緊急時に素早く対応できる心構えを持ち、また責任を持って支援を行いました。

4.3 令和2年度 きらり班支援報告

プログラムの報告

- ・ひとりひとりを尊重しながら、活動へのモチベーションの維持・向上を図り、個々の有する能力を活かすことで、QOLの向上を目指しました。
- ・作業に集中出来るよう適宜構造化を行い、環境を整えました。
- ・適度な運動量を確保することにより、ADLの維持・向上を目指しました。
- ・一定の環境下におけるソーシャル・スキルの向上を目指しました。

[担当職員] 稲川・塙・鈴木・仲田

支援事項

○身辺処理支援

手洗い、髭そり、布団敷き、衣類整理・調整を行い、ADLの向上を図りました。

○リサイクル活動などを行う。

リサイクル活動は、空き缶潰し、選別、プルタブ取り等を行いました。

○体力作り

ウォーキング、体操、踏み台昇降等を取り入れ、体力の増進、維持に努めました。

○室内活動

個人に合わせた活動を取り入れながら実施します。また、室内清掃も行いました。

留意点

- 1：作業中の怪我や事故のないよう、利用者の行動、利用者同士の関わりや活動環境などの安全に配慮し、責任感を持って支援しました。
- 2：身体的・精神的な健康状態の変化を把握し、維持・改善に努めました。
- 3：発達水準、障害特性や性格などを考慮し、個々に応じた支援を行いました。
- 4：職員間で情報共有・意見交換を密にし、利用者の多面的な理解に努めることで、理解を深めるとともに、支援スキルの向上とよりよい支援体制の構築に努めました。
- 5：健康増進・体力低下の防止に努めました。

4.4 令和2年度 スマイル班支援報告

プログラムの報告

- ・個人の身体能力、特性を考慮して個人に合わせたプログラムを作成して、施設生活を快適に送れるように QOL の向上を図った。
- ・個別機能訓練プログラムを作成して、適正な機能訓練及び運動を行う事で ADL の向上を目指した。
- ・認知症を職員同士で理解・確認し合い、適切な対応を行えるようにした。
- ・環境美化として作業場の清掃や花木の栽培、季節の大型貼り絵などの創作活動を行った。
- ・笑顔が絶えない、明るく楽しい班活動を行えるように心掛けた。

【担当職員】 岩間・島方・堀江

支援事項

○機能訓練及び体力作り

個別の機能訓練プログラムを作成して、適切な機能訓練、リハビリテーションの実施。

○レクリエーション

レクリエーションを取り入れた活動を行い、楽しく笑顔の絶えない活動を支援。

○環境美化活動

花木の栽培やワーキングスペースの清掃活動の実施。

○創作・芸術活動

季節の貼り絵や工作等、個々の想像力を発揮するようなアート作製活動の実施。

○外出

新型コロナウイルスの影響により、あまり外出できなかった。施設内で出来るイベントへの参加を促した。

○認知症

認知症及び認知症の症状がみられる利用者に対して、本人の特性を理解して、正しい対応を出来るように支援の統一などを行った。

留意点

- 1：看護師と連携して個別の機能訓練プログラムを作成と評価を行う。
- 2：事故防止に努め安全な活動を実施していく。
- 3：適宜に個人プログラムの評価して常に適切な活動を提供できるように努めていく。
- 4：リハビリテーション、認知症、レクリエーションの知識を身につける。
- 5：職員間では情報の共有をして、共通した支援が行えるようにする。

4.5 令和2年度 つばさ班支援報告

プログラムの報告

- ・ 体力・ADL低下の予防を目的としました。
- ・ 木工作業を行い、巧緻性を高め、ウォーキングや踏み台昇降、音楽活動など楽しく体を動かしながら体力づくりに努めました。また屋外での生活にも留意して身体機能の低下を防ぎ、健康面に充分留意した支援を行いました。
- ・ 健康面・精神面に配慮し、充実した活動が行えるよう個々に合わせた支援を行いました。

支援要領 【担当職員】 和田・寺山・大山・関

支援事項

- 身辺処理支援
髭剃り、手洗い、排泄、衣類の着脱、ベッドメイキングなど)
- 体力づくり
(ウォーキング、外出、ボールを使った運動、踏み台昇降)
- 清掃
(女子棟Dルーム清掃、野外清掃)
- 木工作業
- 音楽活動

留意点

- 1：活気のある作業活動に取り組める雰囲気をつくりました。
- 2：季節に応じた身だしなみの確認を行いました。
- 3：体力や体調を把握し、天候、季節に応じて活動内容を計画、変更しました。
- 4：個性に合わせた作業の選定と支援を行いました。
- 5：施設外活動の際、常に安全を考えた行動、支援に留意しました。
- 6：支援員同士、情報共有に努め利用者に対する深い理解とより良い支援の向上に努めました。
- 7：転倒等、事故の防止に努めました。
- 8：作業を通して巧緻性を高め、体力低下の防止に努めました。

4.6 令和2年度 めぐみ班支援報告

プログラムの報告

- ・利用者一人一人の能力や性格に配慮して、個別に支援を行う事により ADL の向上を目指しました。
- ・個々の能力に合った作業課題を設定して、やりがいと楽しみを持って活動に取り組めるように支援しました。
- ・野菜の栽培、収穫から納品、販売を通してやりがいと楽しみを感じてもらえるように支援しました。
- ・収穫した野菜は販売を目的としたもので、仕事としての意識や責任感を育めるよう支援しました。
- ・屋外での作業により体力の維持、向上につながるように支援しました。
- ・作業活動を通じて自主性や協調性を育めるように支援しました。

支援要領 【担当職員】 神田・高安・片岡・飛田

支援事項

- 農作業、野菜栽培・収穫・納品販売
- 施設内整備、屋外清掃（片付け、除草、清掃作業等）
- 身辺処理・身だしなみ（ひげそり、衣類の調節等）
- 清潔保持（作業用手袋、靴下、タオルの洗濯管理等）
- 安全の確保（用具の適切な使用、水分補給、日焼け、虫よけ対策等）
- 体力作り（ラジオ体操・ウォーキング等）

留意点

- 1：利用者一人一人の能力や性格に配慮して個別に支援を行う。
- 2：利用者が気分よく活動できるように明るく楽しい雰囲気の中で作業を行う。
- 3：道具や資材を大切に扱う。
- 4：おやつ当番など積極的に役割分担を持たせていく。
- 5：体調や精神状態、作業中の所在の確認に配慮する。
- 6：安全への配慮（道具の適切な使用、危険物の取扱や管理に注意する）
- 7：めぐみ班の一員としてお互いに助け合う仲間意識、協調性を育む支援を行う。

5. 給食実施状況報告

日々、看護師、支援員と連携を図り、利用者それぞれの身体状況に応じた食事を提供し、健康の維持と疾病の重症化予防に努めました。また、利用者の嗜好を大切にしながら、栄養バランスを考慮した献立作りとその提供に努めました。

また、栄養ケアマネジメントを通し、利用者の咀嚼機能や年齢に合った食事形態・食事量を提供し、利用者の健康管理にも努めました。また、栄養面・嗜好・季節等を考慮した食事の提供に努めるとともに、個々人の状況に合わせて食事量の変更、食事形態の見直しを行ってきました。

5-1 月別給食業務実施内容

月	栄養／厨房業務
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房内大掃除 ・ 保菌検査 ・ 荷重平均栄養所要量／食品構成表作成
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査 ・ 嗜好調査
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養状況報告書提出 ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査（6月～9月まで月2回実施） ・ 価格調査、ふき取り検査（専門業者委託） ・ 害虫駆除（バルサン噴霧による） ・ 衛生講習会（感染症・食中毒予防） （新型コロナ対策のため講習会は中止）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房内大掃除 ・ 保菌検査
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房内大掃除 ・ 保菌検査
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査（11月～3月ノロウイルス保菌検査） ・ 価格調査
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房大掃除 ・ 保菌検査

【1】給食に関する方針

1. 寛いで食事ができるような配慮等
 - ・BGMを利用し楽しい食事時間の雰囲気作りに努めた。
2. 身体の状況に合わせた調理への配慮等
 - ・エネルギー別献立（主食を大盛り、小盛りで対応）、塩分制限食、カロリー制限食
刻み食、ミキサー食、ペースト食、クローン病食、糖尿病食
その他、疾病による特別食の供給につとめた。
3. 適温で給食提供についての配慮等
 - ・配膳時間に合わせて適温提供調理につとめた。
4. 身体状況に応じた自助具の活用
 - ・自助具（スプーン、フォーク）
 - ・介助用コップや皿の使用
5. 嗜好調査・残食調査等の実施方法
 - ・嗜好調査 アンケート
 - ・残食調査 毎食職員による検査食
6. 調査結果についての献立への反映
 - ・好まれるものはなるべく献立に取り入れ、残食の多いものは調理形態を変える等の工夫をする。
7. 栄養基準量の算出方法
 - (ア) 性別・年齢別荷重平均
 - (イ) 労差別荷重平均
 - (ウ) 身長・体重・健康診断による個別栄養所要量算出
(身体状況に応じ、大盛り・小盛りで対応)
 - (エ) 疾病による個別所要量
 - (オ) その他
 - 特別食の提供の実施
 - 栄養改善のための個人アセスメントの実施

【2】給食提供の状況

利 用 者				職 員 等		
年間延食数				年間延食数		
	入所者	短期入所	日中一時		職員	ボランティア 実習生
朝 食	17,248	490	0	朝 食	0	0
昼 食	17,199	490	0	昼 食	5,127	2
夕 食	17,247	501	0	夕 食	363	1
計	51,694	1,481	0	計	5,490	3

【3】特別献立（行事食等）の提供

季節に応じたバラエティーに富んだ食事を提供。

- ・お花見弁当
- ・創立記念日
- ・七夕食事会
- ・夏のいこい
- ・鍋の日（冬季） 卓上コンロを使用しての食事。
- ・おせちメニュー
- ・節分メニュー
- ・ひな祭りメニュー
- ・お楽しみ食事会いつもと違った食事を楽しむ。
- ・サタデークッキング第2、第4土曜日に利用者と共におやつのクッキングを楽しむ。
- ・バーベキュー 5月、6月、7月、8月（夏のひととき）、10月 野外に昼食をかねて炭火鉄板を使ったバーベキューを楽しむ。

【4】疾病を有する方への特別食の提供

- ・禁忌、アレルギー、食事療法、エネルギー、塩分制限食など疾病に対する特別食
- ・発熱などの突発的な発病や食欲不振など、おかゆ・うどんなど消化の良いもので対応。

【5】食中毒の発生防止対策

- ・集団調理マニュアルに準じた
- ・給水中の残留塩素の測定を毎日励行
- ・調理品中心温度の測定及び記録
- ・生野菜等は、ノロウイルス対策として次亜塩素酸で消毒した後、調理加工を行った。
- ・「オックス・ヴィレッチ食中毒防止対策要項」に基づき感染症及び食中毒の衛生管理の徹底につとめた。

【6】手作りおやつの実施

- ・毎週、火曜日・木曜日には「手作りおやつ」に取り組みました。使用している原材料がわかるので添加物もなく、手間はかかりますが出来立てで「おやつ」を提供し、利用者の皆様に大変喜ばれておりました。
- ・その他には、利用者の方参加型のサタデークッキングを行い、調理の工程を見て、聞いて、経験して、食物を大切にする気持ちを育み、食への楽しみや相互のコミュニケーションをはかることを心掛けた。

5-2 令和2年度 栄養出納帳（年度平均）報告書

	食品構成	平均給与量	エネルギー	蛋白質	脂質	微量栄養素						
						Ca	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	Na
						mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
穀類	340	351	1083	27.4	9.1	85	2.5	0	0.25	0.18	0	665
いも及びでんぷん	70	66	53	1.3	0.1	7	0.3	0	0.07	0.02	14	3
砂糖及び甘味類	5	15	49	0.1	0	1	0.1	0	0	0.01	1	1
菓子類	30	33	79	1.1	1.8	13	0	18	0.01	0.01	0	32
油脂類	25	17	143	0.1	15.5	2	0	3	0	0.01	0	61
種実類	5	3	18	0.8	1.7	14	0.2	0	0.02	0.01	0	0
みそ	10	9	17	1.2	0.5	10	0.4	0	0.01	0.01	0	444
大豆製品 その他の豆類	50	62	74	5.7	4.8	86	1.2	0	0.06	0.05	0	12
魚介類	60	65	98	11.6	3	22	0.4	16	0.04	0	0	552
獣鳥肉類	60	73	169	12.4	8.5	6	1	15	0.37	0.13	10	385
卵類	50	33	53	3.9	3.7	18	0.6	49	0.02	0.15	0	42
乳類	200	168	99	4.9	5.4	168	0.2	50	0.04	0.25	0	85
緑黄色野菜	130	131	34	2.6	0.3	82	2.5	642	0.12	0.17	50	22
淡色野菜	230	241	57	2.9	0.2	72	1	46	0.09	0.09	41	15
果実類	100	81	44	0.6	0.1	7	0.2	9	0.04	0.02	16	2
きのこ類	10	17	0	1.2	0.2	2	0.3	0	0.03	0.08	0	2
藻類	10	9	0	0.6	0.1	68	2.5	15	0.02	0.03	1	493
嗜好飲料類	30	26	44	0.1	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	25	29	21	1.5	0	7	0.6	6	0.01	0.03	0	1525
年度実績値			2135	80	55	671	14	869	1.2	1.25	133	4342
目標値			2200	60	60	650	8	800	1.00	1.00	100	4000

比率 穀物I補給[※]-比 50.7% 脂質I補給[※]-比 23.2%

目標値 穀物I補給[※]-比 50%以上 70%未満 脂質I補給[※]-比 20%以上 25%未満

6. 健康管理実施状況報告

6.1 月別健康管理業務実施状況

月	病院受診	健康診断	健康状態チェック	その他	嘱託医
4月	1 栗田病院、尚仁会クリニック、大原神経科病院、水戸クリニックなどの定期診察 2 その他の状況により 随時	歯科検診 【令和元年度分】	①検温 ②体重測定 (毎月実施) ③血圧、脈拍測定 (要測定者) ④爪、耳垢 (随時チェック)	1 投薬の管理 2 施設内処置	嘱託医による健康相談 (5名)
5月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (4名)
6月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (5名)
7月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)
8月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)
9月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)
10月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)
11月	①②を実施	定期健康診断	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (8名)
12月	①②を実施	精密検査 (該当者)	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)
1月	①②を実施	精密検査 (該当者)	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)
2月	①②を実施		①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)
3月	①②を実施	歯科健診 【令和2年度分】	①②③④を実施	①②を実施	健康相談 (0名)

※新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、不要不急の健康相談は中止とした。

6.2 定期健康診断の状況

期日	実施人数	検査内容	実施状況	検査機関
令和2年 11/16(月)	入所者 48名 短期入所者 1名 合計 49名	<ul style="list-style-type: none"> ■身体計測(身長・体重) ■尿検査(蛋白、糖、潜血) ■血圧測定 ■貧血検査 <ul style="list-style-type: none"> (1)赤血球数 (2)血色素量 (3)白血球数 (4)血球容積) ■脂質検査 <ul style="list-style-type: none"> (1)中性脂肪 (2)HDL コレステロール (3)LDL コレステロール ■肝機能検査 <ul style="list-style-type: none"> (1)AST(GOT) (2)ALT(GPT) (3)γ-GT(γ-GTP) ■CRE・尿素窒素 ■HbA1c ■心電図検査、 ■胸部X線間接撮影 ■視力検査、 ■聴力検査 ■検便 ■医師との問診 	利用者は聴力、視力、検便は実施せず	医療法人社団 健幸福会 龍ヶ崎大徳ヘルシークリニック大徳健診センター

7. 職員の研修取り組み状況の報告

7.1 施設内 専門研修

No	研修名	開催時期	参加職種	講師	研修内容
1	障害の理解について 自閉症・ダウン症・統合失調症	令和2年7月 6,8,9,10,13日 計5回	支援員 看護師 【15名】	研修委員	自閉症・ダウン症・統合失調症について学び実践に生かす
2	感染症対策講習会	令和2年8月 17,18,19,20日 計4回	支援員 【19名】	感染症対策委員	「手洗い方法の実践」 「予防衣（防護エプロン）の着脱の実践」 「手袋・マスクの着脱の実践」
3	不適切ケアと虐待防止	令和2年9月 7,8,9,10,11日 計5回	支援員 看護師 厨房職員 【22名】	研修委員	「虐待防止法の理解と対応」 「不適切ケアについてみんなで考える」 「不適切ケアにならないためにはどうしたらよいか」
4	感染症対策と予防について	令和3年2月 4,5,8,9,10,12日 計6回	支援員 看護師 厨房職員 【20名】	感染症対策委員	ノロウィルスの感染経路、予防法、嘔吐時の処理の仕方

7.2 施設内 全体研修

No	研修名	開催時期	参加職種	講師	研修内容
1	「合意形成の大切さを学ぶ」	令和2年10月 20,23日 計3回	支援員 看護師 厨房職員 【25名】	サビ管	コンセンサスゲームを通し、価値観の違い、想定の違いを体験する。また、合意形成の過程と合意形成の大切さを学ぶ。
2	「危険予知トレーニング」	令和2年 11/26、12/3,7 計4回	支援員 看護師 厨房職員 【25名】	サビ管	リスクマネジメントの重要性、気づきの感性を高める
3	「自閉症の理解と手順書の重要性」について	令和3年1月 26,28,29日 計4回	支援員 看護師 厨房職員 【25名】	サビ管	自閉症の特性を映像を交えて学ぶ 手順書の理解
4	「情報伝達の重要性」について	令和3年2月 19,25,26日 計4回	支援員 看護師 厨房職員 【25名】	サビ管	コミュニケーションゲーム 情報の伝達を通して、コミュニケーションの難しさや大切さを学ぶ
5	「雰囲気の良い職場づくり。職場を活性化させるために、大切なこと」	令和3年3月 24,26,31日 計4回	支援員 看護師 厨房職員 【24名】	施長補	「ヘビの脳の話」「ノルアドレナリンとエンドルフィン」
6	私生活での出来事から 業務改善！職場改善！につなげよう	令和3年3月 18,19,23,24日 計4回	支援員 看護師 厨房職員 【21名】	研修委員	・私生活で、人にされて良かったこと、嬉しかったこと ➡それを職場で生かすにはどのような場面で生かせるか。 ・私生活で、人との関わりの中で体験した悲しかったこと、悔しかったこと ➡職場で、そのようなことがないようにするには、どのようなことに気を付ければよいか

7.3 施設外研修

No	研修名	開催時期	参加職種	研修内容
1	茨城県社会福祉協議会 【新任職員研修】	令和2年5月 26日	支援員1名	新任職員として必要な基本的知識・技術や職務遂行上の心構えを習得する
2	ひたちなか保健所 【新型コロナウイルス感染対策研修】	令和2年9月 16日	看護師1名	「新型コロナウイルスの基本的知識・ゾーニング等」 「高齢者・障害者施設における感染予防対策及び防護服の着脱」 「感染拡大の予防の保健所の役割」
3	茨城県立あすなろの郷 【ABA勉強会 基礎編 第1回】	令和2年12月 17日	支援員2名 管理者1名	障害特性の李騎亜（行動障害・知的障害等）
4	茨城県立あすなろの郷 【ABA勉強会 基礎編 第2回】	令和3年2月 5日	支援員1名 管理者1名	行動の基礎「強化・弱化の理解」
5	茨城県発達支援センターあい 【強度行動障害支援セミナー】	令和3年2月 10日	管理職1名	行動障害児者への理解と支援
6	茨城県立あすなろの郷 【ABA勉強会 基礎編 第3回】	令和3年2月 19日	支援員1名 管理者1名	望ましい行動を教える方法

8. 防災の取り組み状況報告

月日	訓練名	想定とねらい	訓練内容	留意点
4月 23日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 緊急放送をよく聞き指定場所に速やかに避難誘導する。	夜間を想定して夜勤者2名と管理当直1名の体制で避難訓練を実施した。 各職員の役割分担を確認する。	避難場所：グラウンド 各役割分担を把握し、速やかに行動する。 職員間で声を出し連携をとる。
5月 21日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 各職員の役割分担を確認して避難誘導を行う。	夜間を想定し夜勤者2名、管理当直1名体制で実施した。避難指示の放送をし、速やかに棟内からグラウンドの避難場所まで誘導する。	避難場所：グラウンド 出火想定場所を考慮して、安全な経路で避難できるように誘導する。
6月 11日	火災避難訓練 (消火器具の使用方法の確認を含む)	コロナウイルス感染拡大の影響により、消防署員立ち合いによる総合訓練は中止とし、昼間想定で火災避難訓練を実施した。 昼間想定 出火場所：厨房	昼間、厨房を出火場所と想定して避難訓練を実施した。 各職員の役割分担を確認して避難誘導を実施する。 非常放送設備および消火器の使用法の再確認を行う。	避難場所：グラウンド 各職員の役割分担を再確認してスムーズに避難誘導できるようにする。 消火器の使用法を熟知するよう反復確認をする。
7月 15日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：洗濯室 緊急放送をよく聞き安全な経路で避難できるように声掛け、誘導を行う。	夜間を想定し、夜勤者2名、管理当直1名の体制で実施した。 火災覚知後、緊急放送の指示に従い速やかに各居室から避難場所へ避難し人員確認を行った。	避難場所：グラウンド 出火場所を避け、煙を吸わないようできれば低い姿勢で避難するよう声掛けを実施する。

月日	訓練名	想定とねらい	訓練内容	留意点
8月 19日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 避難経路と避難誘導、人員確認時の職員の役割分担を確認する。	夜間3名（夜勤者2名、管理当直1名）体制で実施した。 放送や避難誘導の声かけなどに対する利用者の反応を確認した。	避難場所：グランド 転倒等の二次災害を想定して、安全に避難できる経路、誘導方法を確認する。
9月 29日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：洗濯室 出火場所を避けて避難するように声掛け、誘導を行う。	夜間3名（夜勤者2名、管理当直1名）体制で実施した。 速やかに各居室から避難場所へ避難し人員確認を行った。	避難場所：グランド 訓練終了後に、緊急放送を良く聞くこと、火元を避けて避難するように説明を行う。
10月 21日	火災避難訓練	昼間想定 出火場所：厨房 職員間で連携して速やかに避難誘導できるように役割分担を確認する。	出火確認後、初期消火を行い延焼の恐れがあると判断して避難誘導を開始する。避難誘導時には避難経路と避難場所を指示して落ち着いて避難するように声掛けを行った。	避難場所：グランド 各職員が役割分担を把握し、速やかに行動する。 各職員は声を大きく出し、的確に避難誘導する。
11月 19日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 初期消火の実施と非常放送設備の使用方法を確認する。	夜間を想定し、夜勤者2名、管理当直1名の体制で実施した。 出火場所の確認、初期消火の実施と非常放送設備の使用方法の確認を行う。	避難場所：グランド 各職員が非常放送設備を的確に使用できるように使用方法の確認、訓練を行う。

月日	訓練名	想定とねらい	訓練内容	留意点
12月 17日	避難訓練	夜間想定 出火場所：洗濯室 避難時の安全に留意して、避難の声掛け、誘導を行った。	夜間を想定し、夜勤者2名、管理当直1名の体制で実施した。 避難時の安全に配慮して避難経路の指示、声掛けを行った。	避難場所：グランド 利用者の特性を考慮して避難誘導の指示、声掛けの方法に配慮する。
1月 21日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 避難経路で危険個所は無いか確認する。	夜間を想定し、夜勤者2名、管理当直1名の体制で実施した。 出火想定場所の厨房付近を避けてグランドに避難するように声掛け、誘導を行った。 避難経路に凍結が予想される場所がないか確認して避難誘導する。	避難場所：グランド 路面凍結や寒さ等、避難時に注意喚起する事項が増えるので留意する。
2月 17日	火災避難訓練	夜間想定 出火場所：厨房 避難経路の安全確認と避難場所での人員確認、待機時の体制を確認する。	夜間を想定し、夜勤者2名、管理当直1名の体制で実施した。 避難経路の安全を確認して避難の声掛け、誘導を行う。 避難場所で速やかに人員確認できるように職員役割分担、体制を確認する。	避難場所：グランド 避難時には凍結個所や段差等、安全を確認して避難誘導を行う。
3月 30日	火災避難訓練	昼間想定 出火場所：厨房 各職員間の連携を確認して、安全、速やかに避難誘導できるようにする。	昼間、厨房を出火想定場所として実施した。 出火確認後、各職員が役割分担を把握して速やかに避難誘導に当たれるようにした。 避難経路に危険な個所がないか確認を行った。	避難場所：グランド 非常放送設備、消火器の操作手順を確認し、使用方法を周知する。

9. 主な催事の報告

月日	内容	支援員役員	備考
4月			
初旬	お花見外出	中止 高安・大山	お花見をしながらおやつを食べる。
3(金)	お花見弁当	厨房職員	
18(土)	親の会総会 9:30~	中止 施設長 遠山、高安、大山	
5月			
8(金)	バーベキュー	寺山	
18(月)	春の運動会	根本・和田	参加：利用者、職員
27(水)	お楽しみ会	大山・神田	「イントロクイズ」 「おやつを買って食べよう」
6月			
3(水)	大掃除	島方・塙	
19(金)	バーベキュー	塙	参加：利用者、職員
30(火)	お楽しみ会	石川・砂押	「お宝さがしゲーム」 「お菓子づくり」
7月			
1(水)	創立記念パーティ	稲川・堀江	
16(木)	デリバリーランチ	磯崎・鈴木	夏のいこい延期により実施
8月			
6(木)	夏のいこい	磯崎・鈴木	参加：利用者、職員
31(月)	夏祭り会	神田・関	参加：利用者、職員
9月			
8(火)	バーベキュー	神田	
19(木)	ゆうあい スポーツ大会	中止 (準備) 砂押 (施設) 宇野・根本	

月日	内容	支援員役員	備考
10月			
6(火)	お楽しみ会	岩間・根本	「ウォークラリー」 ～宝物をゲットせよ～
27(火)	お楽しみ会	寺山・高安	各組対抗レクリエーション大会
11月			
3(日)	秋まつり	中止	
12(木)	秋の運動会	石川・仲田	参加：利用者、職員
17(火)	バーベキュー&芋煮会	寺山	
12月			
3(木)	さよならパーティ	稲川・磯崎・宇野	参加：利用者、職員
24(木)	クリスマス会 (施設内)	岩間・和田	
1月			
	お正月食事	厨房職員	
8(木)	初詣イベント	石川	参加：利用者、職員
2月			
	節分	堀江	
3月			
	ひな祭り食事	厨房職員	ひな人形の設置
10(水)	デリバリーランチ アラカルト	岩間・堀江	デリバリーランチ (ハンバーガー、寿司、そば) おやつクッキング

10. 見学者・ボランティア受け入れ報告

見学者およびボランティアの受け入れについては、広く施設機能の解放をすすめ、施設の透明性を育てる上で極めて有用なものと認識致します。

さらに私たち施設職員は、新しい人々との出会いによって、自らが絶えず試され鍛えられていく貴重な体験の機会であると考えます。

そして、これらの方々は、地域における貴重な人的福祉資源でもあります。施設見学やボランティア活動を通じて、普段日常では関わる機会も少ないであろう、障害者とのふれあいにより垣根が外れ、また、地域に障害者福祉における理解者が輩出されたことと希望する次第です。

1. 施設見学者受け入れ状況報告

日時	団体名等	見学目的
	なし	

2. ボランティア受け入れ状況

日時	団体名等	ボランティア内容
	なし	

令和2年度は、新型コロナウイルスの対策の一環で外部からの出入りを極力控えていただく方針をとりました。

11. 主な環境整備、物品の購入の報告

日常的な施設設備の点検を継続したことで修繕や背日が必要な箇所を早めに見つけて対応することができました。

利用者の視点では安全で快適な住環境を、職員の視点では安全な労働環境と負担軽減や効率性を重視した物品の見直し整備を行ってまいりました。

また、日頃の清掃や整理整頓に心がけて清潔で整備の行き届いた環境づくりに努めました。

【環境整備】

月	内 容	目的・理由・効果等	費 用
4	施設陸屋根防水修繕	男子棟上部、施設玄関上部に雨漏りがみられるため修繕を行った。	552,000円
4	グラウンド樹木 伐採処分	グラウンド一部において地目適合のため樹木の伐採処分。	556,600円
6	厨房照明交換工事	厨房室内照明において、経年による安定器不良等によりちらつきが目立ち交換を行った。	117,700円
9	ｽｰﾁﾝｸﾞ ﾏﾞﾝ ﾏﾞﾝ 修理	故障により修理を行った。	123,430円
9	エアコン交換工事 事務所内	事務所内の既存のエアコン2台において、使用年数、修理部品供給状況から修理不可により2台を撤去し、新しく1台の取り付け工事を行った。	587,400円
9	男性棟トイレブース修繕	男性棟の大トイレブース、ドアの修繕を行った。	142,076円
10	コンバイン修理費用等弁償	隣地、ヤマザキフジオ様所有コンバインの修理費用等の弁償。	514,037円
11	エアコン交換工事 女子デイルーム	女子デイルーム既存のエアコンにおいて、使用年数、修理部品供給状況から修理不可により撤去し、取り付け工事を行った。	355,300円
3	男性棟廊下 手摺取付工事	男性棟廊下に手摺の取り付けを行った。	266,000円

【物品等】 ※10万円以上

月	内 容	目的・理由・効果等	費 用
4	ノートパソコン 2台	支援員室用ノートPC。 OSサポート終了と動作不調により入れ替え。	168,190円
9	厨房内 食器消毒保管庫	既存の食器消毒保管庫に故障がみられ、使用年数、修理部品供給状況から判断し購入した。	478,500円
11	洗濯機 13kg	既存の洗濯機に故障がみられ、使用年数、修理部品供給状況から修理不可により新しく購入した。	136,023円
12	屋外用ベンチ 7台	屋外で使用するベンチ。破損品との入れ替え。	186,347円
2	TV(モニター)75インチ	施設内研修、オンライン研修・会議時のモニターとしての使用を主な目的とし購入した。	181,500円
3	物置	新型コロナウイルス感染対策物品増により物置を設置した。	288,950円
3	レーザープリンター	既存のプリンタに故障がみられ、使用年数、修理部品供給状況から修理不可により新しく購入した。	308,000円